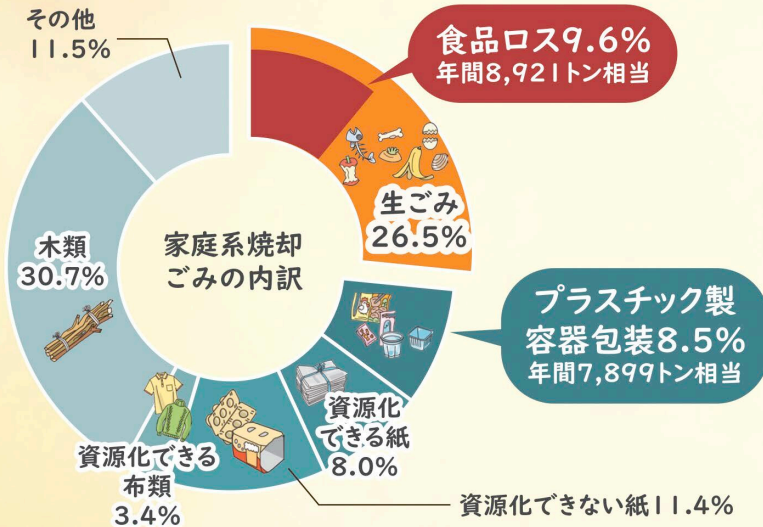


10月は食品ロス削減推進月間です



みんなでやってみよう!

食品ロス削減



令和6年度 宇都宮市家庭系焼却ごみ組成分析調査より

本市の家庭系焼却ごみに約1割混入している「食品ロス」は、「生ごみ」の中でも調理くずなどとは異なり、食べ残しや賞味期限切れにより捨てられてしまった食品です。

食品ロスを削減するため、今日からできることにチャレンジしてみませんか？

飲食店での食品ロス削減にもご協力ください

飲食店では、まずは食べることが大切です。どうしても食べきれないときには「持ち帰り」を検討してください。

- 食べきれる量を注文しよう！
 - ・ビュッフェなどは食べきれる量をお皿に盛る
 - ・量を選べるお店では小盛やハーフサイズを選ぶ
- 家族やグループで食事する際は、お互いにシェアするなど、最後までおいしく食べきろう！



「持ち帰り」を希望するときには



←このマークが目印！

※マークが無くても、「持ち帰り」に対応しているお店もあります。「持ち帰り」に対応しているかはお店にご確認ください。

「持ち帰り」の際には、お店の指示に従い食中毒のリスクを十分に理解し自己責任の範囲で行ってください。

フードドライブを活用しよう！

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集め、地域の福祉団体等に寄贈する活動のことです。本市では通年で食品を受け付けていますのでご活用ください。

市民の皆さまからいただいた食品の一部です！

- 受付場所：市役所本庁舎12階ごみ減量課
- 受付時間：開庁日8：30～17：15
- 対象食品：賞味期限が2か月以上あるもの
未開封のもの
常温で保管できるもの
(例) お米、乾麺、インスタント食品、レトルト食品、缶詰など
- 引渡し先：宮っ子の居場所登録団体ネットワーク NPO法人フードバンクうつのみや



すぐできる食品ロス削減のポイント

1 買いすぎない

買い物の際は、事前に家にある食品を確認し、必要な分だけ買いましょう。



2 作りすぎない

家族の体調や予定などを考えて、作りすぎないようにしましょう。



3 食べ残さない

作った料理は、早めにおいしく食べきりましょう。



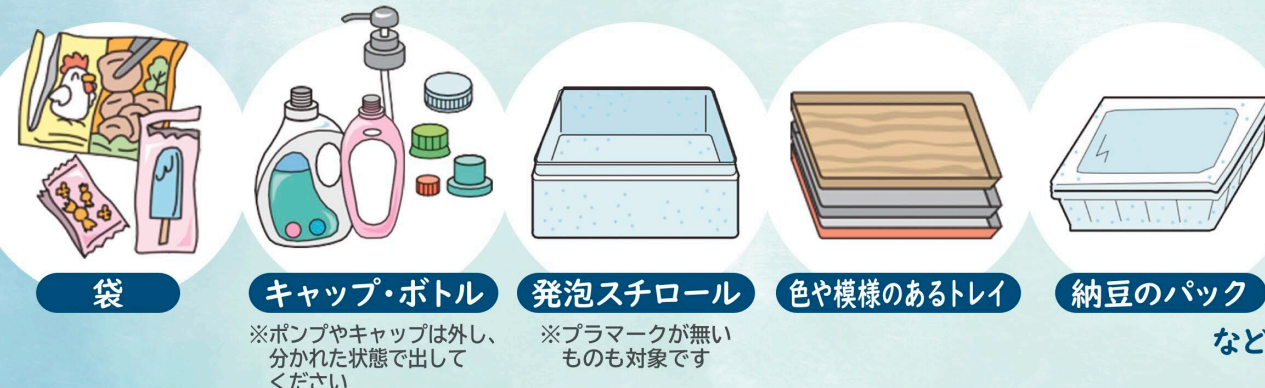


10月は3R推進月間です
正しく分別！ちゃんと資源化！

プラスチック製容器包装の 分別にご協力ください

表面のグラフにあるように、家庭系焼却ごみの中には資源化できるプラスチック製容器包装も混入されています。「資源物」に分別すれば、ベンチや駐車場の車止め、ごみ袋などに生まれ変わります。

プラスチック製容器包装として資源物になるもの



POINT

「プラスチック製容器包装」はこのマークが目印！



※持ち込まれた施設での分別作業に支障が出るため、袋は二重にしないでください。

出仕方

- 汚れを軽く拭きとるなどして、まとめて透明か半透明のポリ袋に入れてください。
- お菓子の袋などは、食べかすが落ちればすすぐ必要はありません。
- お弁当の容器などは軽く拭き、汚れが落ちればすすぐ必要はありません。

間違いやすいものQ&A

- Q** 油污れやチューブ状で汚れが落としにくいものも資源物として出せますか？
- A** 汚れを取り除けば、「プラスチック製容器包装」として出すことができます。
※きれいにするのが難しい場合は「焼却ごみ」へ
-
- Q** 値札などのシールやラベルは剥がした方がよいですか？
- A** 剥がすのが難しいものについてはそのまま出して大丈夫です。

NEW

3Rについて、わかりやすく説明した動画を作成しました。



視聴はこちら！



火災予防のため

電池類の出し方にご注意ください

- 1** 電極等にテープを貼り絶縁してください
モバイルバッテリーやリチウムイオン電池などは金属端子部分に、電池やボタン電池などは電極にビニールテープやセロハンテープなどを貼ってください。
- 2** 危険ごみの日に、「電池類」と「その他危険ごみ」を別々の袋で出してください
- ※ライターやスプレー缶は「その他危険ごみ」です。